

▼学習アプリの活用▼

学習に関しては、教科ごとに教科担当の教員がアプリをダウンロードして活用した(表 3)。授業は体調によって登校、もしくはベットサイド授業となるが、点滴のルートや流量によっては筆記する際に腕を曲げると点滴の「閉塞」を知らせるアラーム音が鳴り、看護師にアラームを解除してもらう必要がある。また、体調不良や検査後などはベット上でも体を起こすことが難しく、横になった状態での授業となることも多い。このような状態でも授業を待っていてくれることが多く、できるだけ体に負担をかけないで授業ができたらと考え、それぞれの担当教科の教員も積極的に iPad を活用した。また、学習後にゲームアプリで遊ぶことも楽しみになっており、ベットサイド授業へ行くと、最初に「iPad ある？」と聞かれることが多かった。



写真4はベットサイド授業の様子である。この日は午前中に検査があったため午後からのベットサイド授業であった。検査のため腰に痛みもあり、検査の際に使用する薬のせいで、起き上がると目まいや吐き気を感じるなどのことである。このような状態であるため、以前は学習というよりは横になった状態で教師と少し話をする程度であったが、iPadを使用すると、自分の楽な体勢を取りながら少しではあるが学習に取り組めたり、ゲームに取り組んだりする中で気分転換がはかれることがあった。

また、アプリではないが「電卓」の機能が有効であった。算数においては、式の立て方や計算方法は理解しているが、体調不良や気分不快により実際に筆記で計算することが難しい。やり方を理解しているのに答えが求められないというのは学習意欲の低下にもつながるが、電卓機能を使えば答えが求められるので学習意欲も向上した。普通の電卓よりもタッチパネルなので使いやすそうであった。

写真4 ベットサイド授業の様子

国語	社会	算数	理科
小学生かんじ 虫食い忍者 漢字忍者 HitsudanPatto ことわざ 五色百人一首下の句チャレンジ	地図パズル 世界パズル 日本一周 国旗クイズ 学コレ～歴史編～ なぞる距離	熱中算数 Lite 数学の王者 けいさん Drill	気象天気図 i 地震 SkySafari 人体パズル 宇宙ニュース 博物図譜

表3 活用した学習アプリ一覧

▼理科教育での活用▼

分教室内では動植物の持ち込みや火気をとまなう実験などが行えないため、観察や実験が重要となってくる理科教育においては学習活動が大きく制限される。



そこで、観察やなどは iPad のインターネットの機能を使って画像や動画やデジタル教材を使用して行った。パソコンを使用することも可能であるが、分教室内のパソコンは無線 LAN でないため、本児のように点滴を引いている場合には点滴台の電源コード、点滴のルート、カテーテル等があるので、コードを使用するパソコンよりも iPad の方が手軽に安全に使用できる場面もあった(写真5)。また、パソコンだと点滴を引いていると本児一人で準備をすることが難しいが、iPad だと一人で準備から片付けまでできるという利点もあった。

写真5 理科の授業の様子

▼分教室外での活用▼

①連絡帳としての活用

本児の場合、平日は主に祖父が、週末は両親が付き添うことが多かった。日々の学校での様子は次のようにして家庭に伝えていた。

- ・祖父に本児や担任が直接伝える。
- ・本児が家庭に電話して伝える。
- ・担任と母親の携帯にメールでのやり取り(写真6)。